



令和 4 年度

FD 活動報告書



岡崎女子大学
OKAZAKI WOMEN'S UNIVERSITY
岡崎女子短期大学
OKAZAKI WOMEN'S JUNIOR COLLEGE

令和4年度FD活動報告書 目次

1. はじめに	2
2. FD委員会の開催	3
2-1 開催状況一覧	3
3. 学生による授業アンケートの実施	4
3-1 実施要項	4
3-2 集計結果	5
4. FD研修会の開催	10
4-1 研修会の概要	10
5. 授業参観の実施	11
5-1 実施要項	11
5-2 実施結果	11
6. ルーブリックによる授業評価	13
6-1 実施要項	13
6-2 実施状況	13
7. 令和4年度FD活動の総括	14

1. はじめに

本学の FD 活動の概要と成果

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
FD 委員長 林 陽子

「令和 4 年度 FD 活動報告書」は、令和 4 年度の岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 FD 委員会が行った FD 活動の概要と成果を学内に報告することで、教員の授業改善による教育の質の向上を目的としてまとめたものです。

本報告書では、令和 4 年度の FD 委員会の実施状況と主な議題を記し、中心的な活動であった①授業アンケート、②FD 研修会、③授業参観、④ループリックによる授業評価の各活動について、教員への依頼や実施案内、質問項目や集計結果並びに実施状況、各種報告書の様式等を掲載しています。

本報告書が、FD 活動のいっそうの充実と教育の質の向上の一助となれば幸いです。

2. FD 委員会の開催

令和4年度は、下記のとおり計8回委員会を開催した。

2-1.開催状況一覧

開催日	主な議題
第1回 (R4.4.27) * IR 推進室会議と合同開催	<ul style="list-style-type: none">・確認事項IR 推進室の目的と業務FD 委員会の目的と業務昨年度の IR 推進室における収集・分析データ昨年度の FD 研修会及び FD 委員会の取組・令和4年度 IR 推進室で取り組みたいこと・令和4年度 FD 委員会で取り組みたいこと・令和4年度における IR 推進室と FD 委員会との連携・令和4年度 IR 推進室会議及び FD 委員会会議の持ち方
第2回 (R4.5.25)	<ul style="list-style-type: none">・本学における FD のあり方・令和4年度 FD 委員会の活動について「学生による授業アンケート」の実施授業参観の実施ループリック評価の実施FD 研修会の計画と実施・令和4年度 FD 委員会開催日程について
第3回 (R4.6.29)	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度 FD 研修会の計画と実施について・「令和3年度 FD 活動報告書」について
第4回 (R4.8.24)	<ul style="list-style-type: none">・第1回 FD 研修会について・第2回 FD 研修会・SD 研修会について・Seiko G PLAN 2022-2026FD 関連部分の進捗状況について
第5回 (R4.10.26)	<ul style="list-style-type: none">・第1回 FD 研修会、第2回 FD・SD 研修会の振り返り・前期「学生による授業アンケート」について・後期「学生による授業アンケート」について・授業参観・ループリック評価の進捗状況について・第3回 FD 研修会について
第6回 (R4.11.30)	<ul style="list-style-type: none">・第3回 FD 研修会について・授業参観・ループリック評価の進捗状況について・令和5年度予算申請について
第7回 (R5.1.25)	<ul style="list-style-type: none">・第3回 FD 研修会について・授業参観・ループリック評価の進捗状況について・外部 FD 講習会の案内
第8回 (R5.3.16)	<ul style="list-style-type: none">・第3回 FD 研修会の振り返り・今年度の振り返り

3. 学生による授業アンケートの実施

令和4年度は授業アンケートを、下記のとおり実施した。なお、一部授業（実習系授業等）については、前期・後期ではなく、授業終了に合わせて実施をした。

*実施結果を示す資料を次頁以降に掲載する。

3-1.実施要項

(1) 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的とする。

(2) 実施期間

各期における授業の第13～15週の期間で行う。

前期 7月4日（月）～8月5日（金）

後期 12月19日（月）～2月6日（月）

(3) 実施する授業

実習系授業・インターンシップを除く、全ての授業科目で実施する。

※ゼミナールも同一のアンケートで実施

(4) 実施方法

・アンケートは、ポータルサイトを利用して実施する。

（学生に「ポータルサイトから『授業アンケート』に回答する」よう伝える。）

・学生にはポータルサイトにて、アンケートの依頼と入力手順を送信する。

(5) アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は教務課で行う。後日、その集計結果を自身で評価し、後日配付の「授業に関する自己点検報告書」を提出する。

3-2.集計結果

(1) 岡崎女子大学子ども教育学部

<前期>

履修者数 2652 名／回答者数 2201 名／回答率 83.0%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.66	4.59
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.61	4.53
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.65	4.43
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.65	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.59	4.45
6	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.64	4.51
7	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.61	4.49
8	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.54	4.34
9	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.62	4.48

<後期>

履修者数 2730 名／回答者数 2343 名／回答率 85.8%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.61	4.54
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.51	4.51
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.49	4.40
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.54	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.47	4.40
6	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.51	4.45
7	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.46	4.46
8	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.41	4.37
9	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.50	4.45

(2) 岡崎女子短期大学幼児教育学科第一部

<前期>

履修者数 3400 名 / 回答者数 2859 名 / 回答率 84.1%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.58	4.67
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.46	4.53
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.44	4.46
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.47	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.39	4.44
6	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.39	4.41
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.39	4.39
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.45	4.48

<後期>

履修者数 3409 名 / 回答者数 2607 名 / 回答率 85.5%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.56	4.60
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.46	4.49
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.46	4.48
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.50	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.44	4.45
6	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.43	4.45
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.46	4.44
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.47	4.49

(3) 岡崎女子短期大学幼児教育学科第三部

<前期>

履修者数 2401 名 / 回答者数 1963 名 / 回答率 81.8%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.53	4.45
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.36	4.25
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.36	4.22
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.43	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.26	4.17
6	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.29	4.15
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.22	4.10
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.35	4.22

<後期>

履修者数 2395 名 / 回答者数 1934 名 / 回答率 80.8%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.61	4.60
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.55	4.52
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.55	4.42
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.59	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.47	4.44
6	あなたは、この授業に満足し、さらに学びを深めたくになりましたか。	4.47	4.43
7	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.44	4.35
8	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.53	4.46

(4) 岡崎女子短期大学現代ビジネス学科

<前期>

履修者数 342 名 / 回答者数 276 名 / 回答率 80.7%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.59	4.38
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.56	4.21
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.54	4.13
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.58	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.56	4.11
6	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.50	4.15
7	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくくなりましたか。	4.45	4.06
8	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.45	4.05
9	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.53	4.15

<後期>

履修者数 196 名 / 回答者数 158 名 / 回答率 80.6%

設 問		平 均 値	
		R4 年度	R3 年度
1	教員から、シラバスの説明があり、シラバスに沿って授業が進められていましたか。	4.66	4.54
2	教員の授業（説明、資料など）は分かりやすかったですか。	4.61	4.45
3	教員は、授業での発言や学生間の議論を促し、適切に対応していましたか。	4.61	4.30
4	教員は、学生からの疑問点、質問に適切に対応していましたか。	4.63	— (R4 新設)
5	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.53	4.32
6	あなたは、この授業に満足しましたか。	4.61	4.35
7	あなたは、この授業について、さらに学びを深めたくくなりましたか。	4.47	4.27
8	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.54	4.22
9	この授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点があれば、記述してください。	—	—
設問全体の平均		4.58	4.35

(5) 参考：授業アンケートの結果を受けての教員自己点検報告書による改善検討

学生による授業アンケートの結果を基に教員は自己点検報告書を作成し、授業内容の改善に活かしている。「学生による授業アンケート」の実施結果、及び「授業アンケートによる自己点検報告書」の内容は、FD委員会による確認を経た上で、教務課にて学生が閲覧できる体制が整えている。

授業アンケートによる自己点検報告書様式

【授業アンケートによる自己点検報告書】（令和4年度）			
所属	子ども幼教現ビ非常勤	教員氏名	
授 業 ア ン ケ ー ト	1. 授業アンケート結果（自由記述を含む）の分析と評価 * 担当科目、遠隔授業の回数、担当クラス名を明記		
	2. 次年度に向けた授業改善の取り組み		
授 業 参 観	3. 「授業参観コメント用紙」の振り返り		

* 提出期限は、前期9月30日（金）、後期3月31日（金）とした。

4. FD 研修会の実施

令和4年度は計3回のFD研修会を開催した。実施日とテーマ、講師、参加人数は以下の通りであった。

4-1.研修会の概要

第1回FD研修会「ループリックの基本ー作成法から活用法までー」

日 時 令和4年8月24日(水) 10:00~12:00

講 師 西野毅朗先生(京都橘大学専任講師)

場 所 2301教室

参加者 教員33名(89.2%)

第2回FD研修会・SD研修会「データから推測される学生動向」

日 時 令和4年9月7日(水) 10:40~12:10

講 師 山下 晋(岡崎女子短期大学教授)

場 所 2301教室

参加者 教員34名(91.2%)、職員20名

第3回FD研修会「ループリックの活用について」

日 時 令和5年3月7日(火) 10:00~12:00

場 所 2301教室

講 師 山下晋(岡崎女子短期大学教授)

中村仁志(岡崎女子大学助教)

参加者 教員29名(78.3%)、職員4名

5. 授業参観の実施について

令和4年度は授業参観を下記のとおり実施した。

5-1.実施要項

(1) 実施目的

本学教員が授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的とする。

(2) 実施方法

専任教員は年間1回以上を必須とする

大学教員歴3年未満（令和3年4月以降に本学に着任し、かつ、本学を問わず大学・短期大学の教員としての専任教員経験が3年未満）の短大所属教員は年間2回以上を必須、大学所属教員は年間2回以上を推奨とする

(3) 参観可能な授業

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学で実施する対面授業

(4) 授業参観の方法

①参観する教員（以下：参観者）は、事前に参観を希望する授業の教員に依頼する

- ・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。
- ・授業担当者は授業内容を知らせ、学生に配布する教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。

②参観日

- ・授業担当者は、授業を受講している学生に、参観の実施について伝達する。
- ・参観者は対象授業を原則90分間、参観する。

③参観後

- ・参観者は、直ちに「授業参観コメント」を記入後、授業担当者及び教務課に提出する。
- ・授業担当者は、後日、「学生による授業アンケート」の自己点検評価とともに「授業に関する自己点検報告書」を提出する（提出期限：令和5年1月末日）。

5-2 実施結果

大学 15名／17名（88.2%） 15件

短大 21名／20名（100.0%） 24件

授業参観コメントに示された意見を、教員へフィードバックし、次年度において改善を加えるなど、さらなるFD活動の推進し、教育の質の向上に努めていく。

授業参観コメント様式

授業参観コメント

記入日：令和〇年〇月〇日

参観者	所属	子ども幼教現ビ非常勤	氏名	
公開－参観日	月日 () 限目			
授業科目		授業担当者		

I-1. この授業で印象に残った点について記して下さい。【参観者記入】

--

I-2. 授業の「工夫」、「効果」、「課題」などを端的に最大3つ記して下さい。(この3点を網羅する必要はありません) 【参観者記入】

--

- * 本用紙記入後、授業担当者と教務課 (kyoumu@okazaki.ac.jp) に提出をしてください (メール可)。
- * 授業担当者は、後日、「学生による授業アンケート」の自己点検評価とともに「授業に関する自己点検報告書」を提出していただきます。

6. ルーブリックによる授業評価

令和4年度はルーブリックによる授業評価を、下記のとおり実施した。

6-1.実施要項

(1) 経緯と目的

単位の実質化に向けて、シラバスにおける自修時間の明記だけでなく、自修における成果について具体的に測る評価方法が求められている。また、アクティブラーニングにおける学修についても、明確な評価方法を検討する必要がある。それらの理由から、各授業科目単位におけるルーブリック評価を実施する。

○ルーブリック評価における代表的なメリット

- ・ルーブリック評価では、毎回の授業において評価表の評価軸へ「評価する内容」を定めることにより、授業の目的や到達目標について学生と共有することができる。
- ・教員が求めている到達度が明らかになり、学生の課題や進度における理解について明確に把握することができる。
- ・評価における公平性を示すことができる。

(2) ルーブリック表の作成・報告について対象教員

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員。ただし、非常勤講師は任意とする。

(3) 実施方法

- ①「全体（15回）」、「授業1回分」、「授業に向けての予習、復習」等、可能な範囲で設定する。

※各授業科目において、建学の精神→教育目的→DPの流れを把握し、DPと授業科目における到達目標との関連性を明らかにする。

- ②最低1回分（任意の1科目）は実施する。

- ③実施した日時・時限・科目名及び実施したルーブリック表を教務課（kyoumu@okazaki.ac.jp）までメールで報告する。

6-2.ルーブリック実施状況

大学 16名/16名（100%）※実習支援室 助手教員を含まず

短大 18名/20名（90%）

7. 令和4年度FD活動の総括

令和4年度FD委員会では前年度の活動を概ね踏襲し、①授業評価アンケート②FD研修会③授業参観④授業改善のためのルーブリック評価、の4点について意義や方針を検討・確認し実施しました。以下、各活動について簡単に振り返ります。

学生による授業評価アンケート（5段階評価）では、大学の平均が前期4.62（前年度4.48）後期4.50（前年度4.45）、短大の平均が前期4.44（前年度4.28）後期4.53（前年度4.43）という前年度の数値を上回る高い値であることから、学生の授業満足度が高い水準で向上していることが確認できました。各教員が前年度の授業アンケート結果を振り返り、授業改善の努力を重ねた結果であることが推測されます。

FD研修会は3回（第2回はSD・FD合同開催）実施しました。第1回研修会は「ルーブリックの基本－作成法から活用まで－」のテーマで、外部講師による研修を行いました。作成上の留意点や具体例が多く示され、「ルーブリック評価を進めていく上で大変参考になった」という声が多く寄せられました。第2回研修会は「データから推測される学生動向」をテーマに、本学IR推進室からの報告に基づいた研修を行いました。教職協働の視点からも、学生募集や学生指導につながる貴重な情報共有と意見交換の機会となりました。第3回研修会は「ルーブリックの活用について」をテーマに事例報告の後、専任教員による各自のルーブリックの紹介と問題点等についてグループワークを行いました。「ルーブリックの活用について確認できる有意義な機会になった」という声が多く聞かれました。

授業参観については、大学及び短大の専任教員に年1回以上の参観、短大幼児教育学科では大学教育歴が3年未満の教員については年2回の参観を依頼し、授業改善への主体的な取組を促しました。「授業実践の参考になった」などの意見が出されています。

ルーブリック評価については、94.4%という高い実施率が確認されました（前年度91.2%）。ルーブリックに関する2回の研修が、実施率の向上をもたらしたと思われます。

個々の教員レベルにおける、授業改善に対するFD活動の有効性については今後の検証が必要と言えます。一方で、各活動における評価や実施率の数値は全般的に高く、かつ上昇傾向が見られることから、大学全体として判断すれば、本学のFD活動は授業改善に寄与し教育の質の向上をもたらしたと推測できます。

今後は、組織として継続する活動と教員個人の自主的な活動との峻別など、FD活動の方向性、並びに高等教育機関としての教育の質の向上に資する重点的なFD活動の探究が求められます。引き続きFD活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度FD委員長 林 陽子